

社協だより

第 3 号

平成 6 年11月15日 発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部支部

那加二東部

(この社協だよりは、みなさんの会費で発行されています)

各自治長さん、民生委員さんの社協より脱皮して、種々と社会福祉のため、ボランティア活動をしておられる多くの人が居られます。福祉の輪を広げるためこれ等多くの人々に社協の役員さんを御願いたす事になりました。

自治会長、民生委員、女性会議、青年育成会、近隣ケアグループ、食生活改善協議会、つ

酷暑も終り秋たけなわの今日この頃、校下の皆様には益々御健勝の事と、お慶び申し上げます。

この度計らずも社会福祉協議会那加二東部の支部長を拝名いたしました、桜町一丁目の自治会長の熊田であります。

社協も法人化されてすでに十二年有余になりました。那加二東部は今迄は自治連合会長が兼務されて居りましたが今年より事務繁多のため、社協、体育振興会がそれぞれ独立して運営に当たる事になりましたのでよろしく御願いたします。

各自治長さん、民生委員さんの社協より脱皮して、種々と社会福祉のため、ボランティア活動をしておられる多くの人が居られます。福祉の輪を広げるためこれ等多くの人々に社協の役員さんを御願いたす事になりました。

自治会長、民生委員、女性会議、青年育成会、近隣ケアグループ、食生活改善協議会、つ



各務原市社会福祉協議会
那加二東部支部長

熊 田 久 男



土協那加二東部支部役員総会

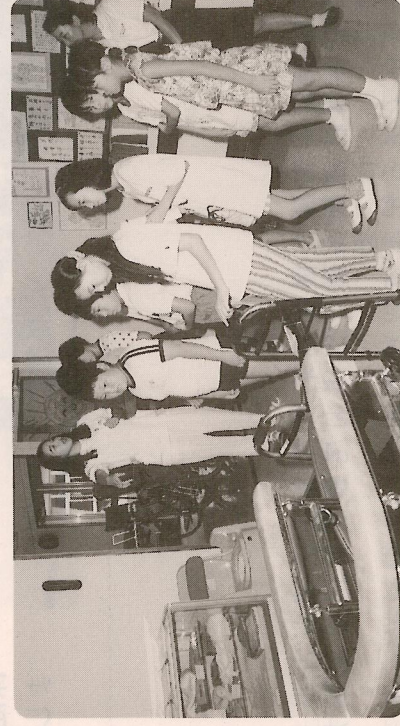
▲支部総会開催 (5月20日市総合福祉会館)

つじ会の皆様方に社協の役員さんを御願いたし運営をしていただく事になりました。だんだんと高齢化して行く社会に対応して行くためにこうしたボランティア活動して居られる皆様に一人でも多く参加していただいて「温くもりとやすらぎのあるまちづくり」に向かって校下の一人一人に助け合いの心、思いやりの心を広げて行きたいと思っております。

今後ますますの御指導御協力をたまわりますようお願いがいたしまして御挨拶にかえさせていただきます。

①福祉協力校の指定

今年度は市内の小・中学校計十二校を福祉協力校に指定し、各指定校において福祉教育の実践に取り組んでいます。具体的には施設を訪問して奉仕活動などをする「夏休み福祉施設体験学習会」や、身体障害者やボランティアが学校を訪問し児童・生徒と直接交流する「福祉協力校訪問事業」「車いすの扱い方を学ぶ「車いす体験学習会」などを実施しています。



▲夏休み福祉施設体験学習会

社協つてなあ〜に!?

——福祉教育編——

▲「募金お願いしまーす」
小中学生ボランティア塾

②小・中学生ボランティア塾、ジュニアボランティア

ボランティア体験をとおりて、社会的に立場の弱い人々の立場になって考え、助けあえる心と実践力を養うことを目的としています。

この塾は、市内の小学校高学年児童及び中学校生徒を対象にしており、子どもたちは年九回のカリキュラムの中で、点字や手話、車いす講習などをはじめとする様々なボランティア活動について学ぶことになっています。

また、昨年同塾を修了した児童・生徒は、ジュニアボランティアとして活躍中です。

社会福祉協議会は「温もりとやすらぎのある福祉のまちづくり」を推進していますが、そのためには次代を担う子どもたちに幼少の頃から福祉に対する理解と関心を深めてもらい、思いやり、たすけあいの「福祉の心」を養ってもらうことが大切であると考え、市教育委員会や各学校の協力を得て、福祉教育を積極的に推進しています。

